

1年目職員からのメッセージ

税関を志望した理由

今井 貴教

IMAI Takanori

関税局監視課総括係
令和3年度入省



治安に関わる仕事を探さず、説明会をきっかけに、水際での不正薬物や銃器などの取締りを行う税関を知り興味を持ちました。

そして税関総合職は水際での取締りだけでなく、貿易円滑化のための交渉や国際機関での活躍など幅広い業務を行うことができると考え、安心安全な社会の実現、そして貿易の円滑化を通じて、社会を守り発展することに寄与したいと思志望しました。

富澤 惣之介

TOMIZAWA Sonosuke

関税局総務課企画係
令和3年度入省



税関は水際でテロ関連物資や不正薬物といった社会悪物品の流入を阻止するなど、日本の安全な暮らしを守るのに欠かせない重要な役割を担っています。「税関の3つの使命」の一つ「安全・安心な社会の実現」という大きな使命感を持ちながら、税関の現場から国際交渉まで幅広い舞台で活躍できる税関総合職に魅力を感じました。

学生へのメッセージ

樺澤 優太

KABASAWA Yuta

関税局業務課総括係
令和3年度入省



進路選択は一つの大きな決断であり悩むことも多いと思いますが、負いすぎず、自分を見つめなおす良い機会と捉えてみてはどうでしょうか。自分の可能性を広げるためにも、広い視野を持ち、なるべく多くの進路を選択肢に入れてみてください!どこなら今の自分が一番納得できるか、考え抜いた先に財務省税関を選んでいただけたら嬉しく思います。

宮原 恵里菜

MIYAHARA Erina

関税局経済連携室
経済連携第一係
令和3年度入省



進路について沢山悩まれるかと思いますが、躊躇せずぜひ色々なことに挑戦してみてください。進路を意識していなくても、どこかで得た経験が判断の要素になるかもしれないからです。皆さんの納得のいく進路選択ができることを心から祈っています。もし、選んだ先が財務省税関であれば、その時は税関ファミリーとして歓迎いたします!

採用前と採用後の税関のイメージ

大島 早貴子

OSHIMA Sakiko

関税局第二参事官室
(国際協力担当)国際調整係
令和3年度入省



採用前は、旅行の際にお世話になる税関職員の印象から、迅速・円滑な取締りによって日本を守る機関であると感じていました。業務の特性上、張り詰めた雰囲気を感じたこともありましたが、その心配は採用後すぐに払拭されました。日頃から会話が活発な環境で、不明点が生じた際には上司や同僚に相談でき、安心感や連帯感を持って業務に当たっています。

高島 慎太郎

TAKAHATA Sintaro

関税局関税課企画第二係
令和3年度入省



採用前、「税関」=空港での荷物検査をイメージしていましたが、実際は、空港、港などにおける通関プロセスの円滑化、脱税に対する犯則調査なども行っています。「税関の3つの使命」の一つ「安全・安心な社会の実現」という大きな使命感を持ちながら、税関の現場から国際交渉まで幅広い舞台で活躍できる税関総合職に魅力を感じました。

印象に残った仕事・やりがい

金杉 みなみ

KANASUGI Minami

関税局原産地規則室
原産地規則第一係
令和3年度入省



EPA税率を利用する際に、貨物が相手国の産品かどうかを判断するための重要なルールである「原産地規則」に関する業務に携わっており、中でもRCEP協定の発効に係る仕事が印象に残っています。国際的な取り決めを、実際に日本でどう運用していくのかという執行の仕組み作りに関わったことは貴重な経験となりました。やりがいのある職場で一緒に働けることを楽しみにしています!

佐藤 賢太郎

SATO Kentaro

関税局調査課総括係
令和3年度入省



財務省関税局では現場の税関と仕事をする機会が数多くあります。私の所属する調査課では、税関の調査部に係る政策の企画立案や調整などを行っています。

税関は約一万人の定員を有する大組織です。税関とのやりとりは一言一句に大きな責任が伴いますが、関税局の一員として1年目から重要な仕事を任せてもらえる環境で働けることにやりがいをしています。



人事採用関連情報

採用状況と任用

過去6年間の総合職年度別採用人数

年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	7(4)	6(2)	7(3)	7(3)	8(3)	6(3)
院卒	行政:1	行政:2	行政:1	行政:1 化学・生物・薬学:1	行政:1	行政:2
大卒	政治・国際:1 法律:2 経済:3	法律:1 経済:1 農業科学・水産:1 教養:1	法律:4 経済:1 教養:1	政治・国際:1 法律:3 化学・生物・薬学:1	政治・国際:1 法律:4 経済:2	政治・国際:2 法律:2

※()内は女性の数



総数 **175**人

※令和4年3月1日現在

試験区分別在職状況

事務系 **117**人

技術系 **58**人

採用等に関するQ&A

Q1 試験区分によって携わる業務内容や採用後の任用に違いはありますか?

A 税関では、採用時の試験区分に関わらず、税関業務全般に携わっていただくこととなります。技術系だからといって、特に業務が限定されることはありませんし、配属先によっては、学生時代に身に付けた専門知識を存分に発揮できる機会もあります。また採用後の任用についても違いはなく、本人の希望や能力次第で様々な業務を経験することができます。

Q2 税関業務についてより詳しく知るためにはどうしたらいいですか?

A 人事院主催の説明会等に参加していただければより詳しく税関の業務について理解していただくことができます。その他、税関ホームページにも水際取締りや輸出入手続き、貿易統計といった業務に関する情報を掲載していますので、ご覧下さい。また、税関ではTwitterやFacebookを活用し、全国における覚醒剤やコピー商品などの水際取締りの取り組みをはじめとする税関の活動について紹介しています。
税関ホームページ→<https://www.customs.go.jp>
税関Twitter→https://twitter.com/custom_kun
税関Facebook→<https://www.facebook.com/Japan.Customs>

Q3 英語力はどの程度必要ですか?

A 英語力は高い方が望ましいですが、採用時に必ずしも英語力が高くなくても、採用後の研修や自主的な勉強により、英語力を高め、国際的な分野で活躍している諸先輩も多くいます。

Q4 業務説明会等の情報はどのように知ることができますか?

A 税関では、例年、総合職中央省庁セミナーや霞が関OPENゼミ等、数多くの説明会等を実施しています。説明会等については、大学等でも情報提供されていますが、税関のHPでも、随時情報を更新し、説明会等の情報提供を行っています。税関に関心のある方は、税関ホームページの採用案内ページをご確認下さい。
<https://www.customs.go.jp/saiyou/saiyou.htm>



Q5 研修について教えてください。

A 採用時の研修にはじまり、語学研修、国内外の大学院への派遣研修、経済学に関する研修等の機会が多くあります。なお、これらの研修には、文系、理系を問わず派遣しており、理系の者が大学院で経済学を学ぶなど、自身を高める機会が豊富です。

Q6 国際的な業務を行うことは必須ですか?

A 財務省税関(総合職)では、多くの国際的業務を行う機会がありますが、同時に国内の業務も多く、関税局における法令業務、監視取締分野の企画立案や法執行業務、貿易円滑化に関する企画立案や執行業務、税関のITシステムに係る業務など様々な分野で活躍する機会があります。